

## 学校生活を面白くする方法

どうすれば学校生活を楽しくできるのでしょうか？

それには、自分の心に素直に生きることが必要です。

たとえば、うわべだけの友達つきあいをやめたり、好きでもない部活を変えてみたりするのはどうでしょうか？

あなたが本当に『この子と話していると楽しい！』と思える子がいないのならば、他の子とは距離をおいてしまって良いと思います。

また、部活も自分が本当にやりたいと思えない部活ならば、さっさと辞めてしまうか、他の部活に変えてしまった方が懸命です。

興味がないことに時間を費やすことほど無意味なものはありません。

それよりも、たとえば「友達なんていなくてもいいから、私はひとりで本を読んでいたいたい」と思うのならば、その通りにしましょう。

「部活をしないで家で絵を描いていたいたい」と思うのならば、それもまた素晴らしいことです。

大事なのは周囲に流されないことです。

サラリーマンの多くが人生をつまらないと感じているのも、社会のルールや価値観に縛られ、流されてしまっているからです。

社会人の場合は食べていくためにそういう我慢もしなければいけないときもありますが、中学生・高校生ぐらいならばそんなこともありません。

周りにどう思われようと、自分の好きなように生きることが大切です。学校生活のあり方は人それぞれなのですから。

周りの目なんか気にしない！…でも、

ただし、自分の好きなように生きるといっても注意すべき点があります。決して他人をバカにしたり、周りの子が楽しく過ごしているのを邪魔してはいけません。

学校で嫌われるひとはこのことを勘違いしているひとが実に多いです。

『私はひとりが好きだから休み時間もひとりで過ごそう』

と思うことは良いことです。

だけど、だからといって友達どうして楽しく遊んでいるひとたちを、

『あいつらって群れててダサイ』

『ガキっぽくてカッコ悪い』

などとバカにする権利は誰にもありません。

友達がいらない人は、すぐに友達がいるひとたちを見下す傾向があります。

それは結局、本当は友達が欲しいけどできないから

『ひとりが好き』と強がっているだけでしかないことの証明です。

ネットで中二病 と言われる症状ですね。

他人を見下した瞬間、周りの人間は即座にそのひとの本音を見抜きます。

『あっ、こいつ強がり言ってる。だせー(笑)』

と思います。

なぜなら、本当に自分の人生や生活を楽しんでいるひとは決して他人をバカにしたり、見下したりしないからです。大人になるとそういうことが本当によく分かります。

逆にいえば、友達がいるひとや楽しそうにしているひとをバカにするひとは、本当は友達が欲しいけど人見知りだから友達が作れないひと、ということになります。

表面的な友達しか作れないのも、

本当は他人と打ち解ける勇気がなくて防御しているせい、ということもあります。

自分に素直に、自由に生きる。

だけど、決して他人をバカにしない。

これこそが、学校生活を楽しく過ごすコツです。